

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 65

令和6年4月23日発行

袋井市幼児教育センター

園生活がスタートしました



鯉のぼりと仲良く散歩して遊びました。



ワクワクドキドキ入園式当日。
先生にリボンを付けてもらいました。



大きい組の友達が優しく教えてくれます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

- (1)健康な心と体
- (2)道徳性 規範意識の芽生え
- (3)社会生活との関わり
- (4)自立心
- (5)自然との関わり・生命の尊重
- (6)言葉による伝え合い
- (7)協同性
- (8)思考力の芽生え
- (9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- (10)豊かな感性と表現

入園当初は初めての集団生活で不安や緊張もありますが、先生や友達と関わる中で安心感を持ち、徐々に興味をもった遊びに自分から取り組むようになります。様々な体験を通し、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、10の姿(上記右表)に向かって、園生活を送ります。そんな子どもたちの姿を幼児教育センターだより「つむぐ」にて、保護者をはじめ市民の皆様にお知らせいたします。健やかにたくましく育っていく子どもたちの様子を掲載していきます。

幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。
袋井市教育委員会 幼児教育センター TEL:86-5511